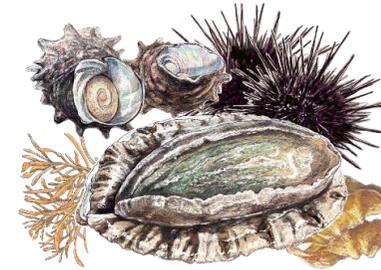


【資料1】

令和4年2月17日

第18回対馬市海洋保護区設定推進協議会

対馬海洋保護区しまうみ管理計画



対馬市水産資源管理計画【磯資源】

令和2年度 対馬管内漁協の水揚量モニタリング結果

令和4年2月

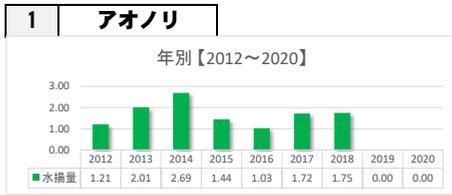
対馬市

■ 磯資源モニタリング結果 (年別水揚量 : 2012年~2020年)

単位 : t

【2020年版】

対馬市



(様式6)

■磯資源モニタリング結果（個別）

【2020年版】

対馬市

1 アオノリ

モニタリング期間:2020年1月～2020年12月



コメント

水揚げをするまでに資源量はなく、主に自家消費されている。



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

2

アマノリ

2021年8月10日現在



コメント

一部では高値で販売されていることもあるが、主に自家消費されている。

主な水揚げ先: 美津島



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

3

オゴノリ

2021年8月10日現在



コメント

特になし。

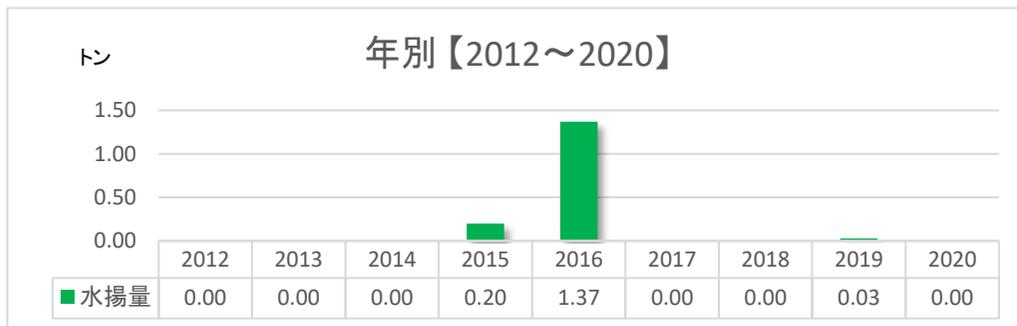


※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

4

カジメ

2021年8月10日現在



コメント

西沿岸ではほとんど見られない。
残存地区でも自家消費や小売りが多く、漁協をとおしての水揚げはほぼない。



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



5

テングサ

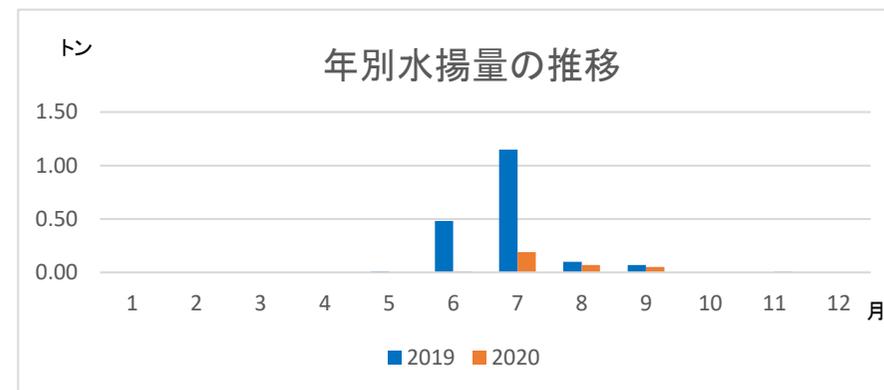
2021年8月10日現在



コメント

資源量は年々、減少傾向にあると思われ、主に自家消費されている。

主な水揚げ先：高浜、上対馬南



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



6

ヒジキ

2021年8月10日現在



コメント

局地的に残存しているが着底する場所が年々減ってきていると思われる。食害生物の影響と思われるが、5cm程度を残して切られたような状態が多く、収穫できるものが少ない。仕切り網の中では成長するため水温より食害の影響が大きいと思われる。

主な水揚げ先:美津島、峰町東部、上対馬南



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



7 ヒトエグサ

2021年8月10日現在

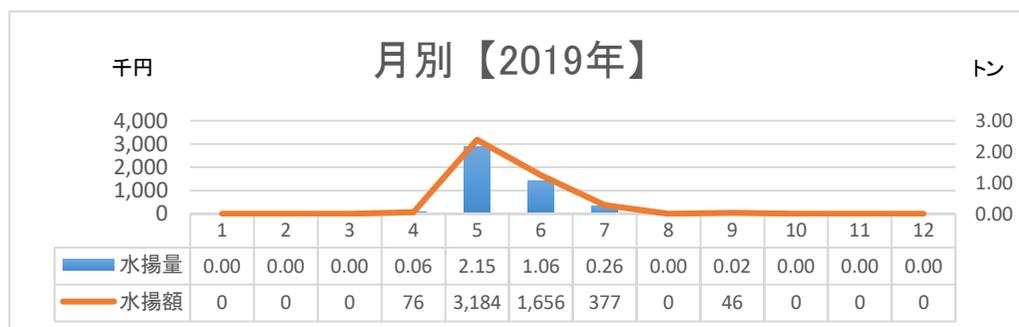


コメント

厳原と西海で養殖されている。
湾外よりも湾内の河口付近の方がよく成長している。



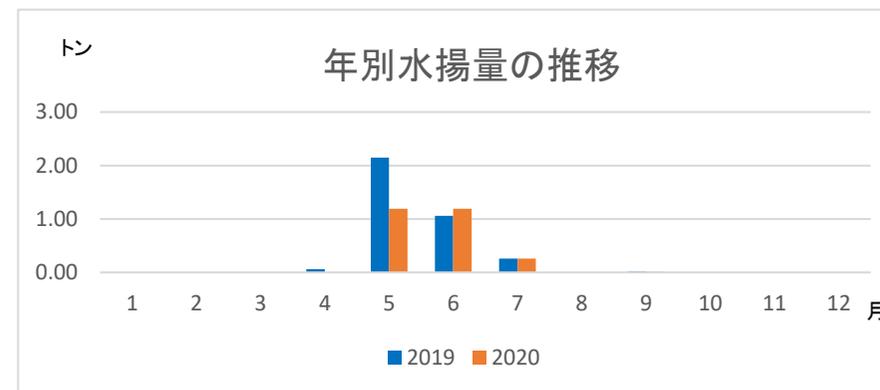
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



コメント

西沿岸にも少し残存している。
 採捕者が減少していることに加え、資源量も減少傾向にあると思われる。
 マフノリは減少、フクロノリは増加傾向にあると思われる。

主な水揚げ先：豊玉、佐須奈、上対馬南



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



9

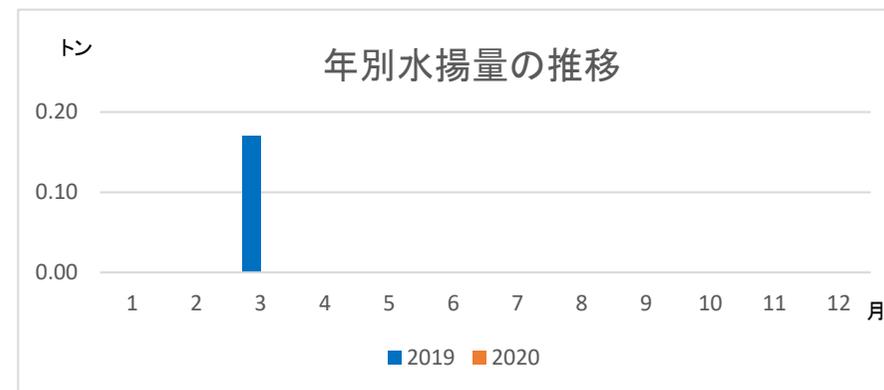
ワカメ

2021年8月10日現在



コメント

西沿岸では見られない。
安価であるため水揚げまではいかず、主に自家消費されている。
浮棧橋の岸壁で見られることが多い。



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



10

アサリ

2021年8月10日現在



コメント

局地的に生息していると思われるが、少量でありサイズも小さい。そもそも生育する場所が少ないと思われる。



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



11

アワビ

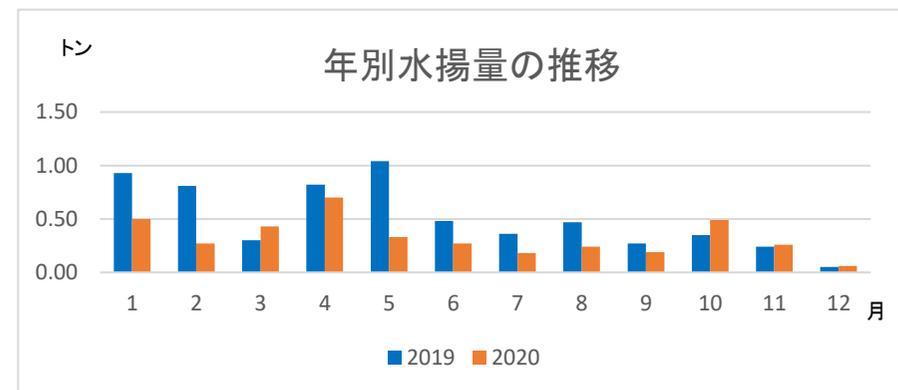
2021年8月10日現在



コメント

近年は身が痩せている個体が多く、また資源量も激減している。
水揚げされる個体はクロアワビの割合が多い。
エサがないため成長が期待できず、稚貝放流の効果はあまり見られない。

主な水揚げ先: 峰町東部、上対馬南、美津島



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



12

イシマテ

2021年8月10日現在



コメント

浅茅湾に生息しているが、主に自家消費されている。



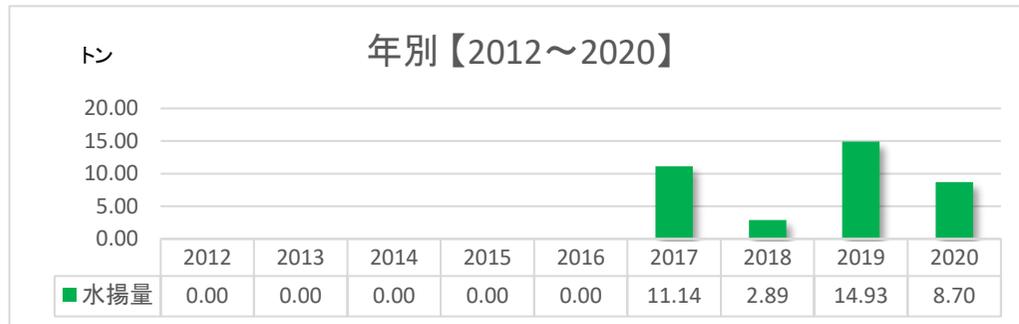
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



13

カキ

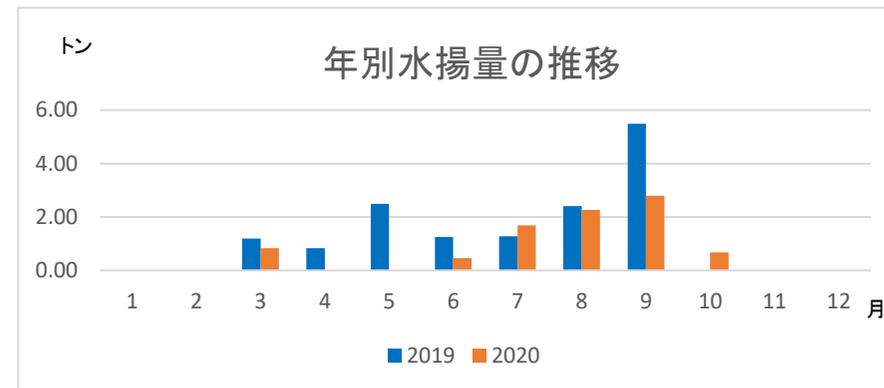
2021年8月10日現在



コメント

天然物も多少は生息していると思われるが水揚げしているのは主に養殖物である。
アコヤ母貝にカキが付着するため真珠業者が駆除をすることもある。

主な水揚げ先: 美津島、豊玉



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



14

サザエ

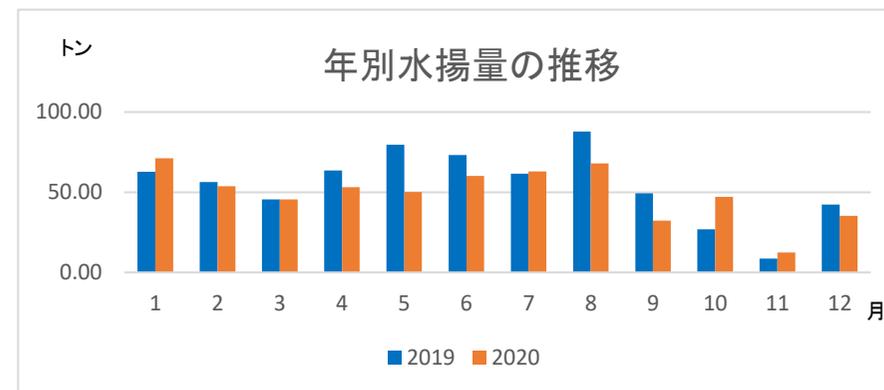
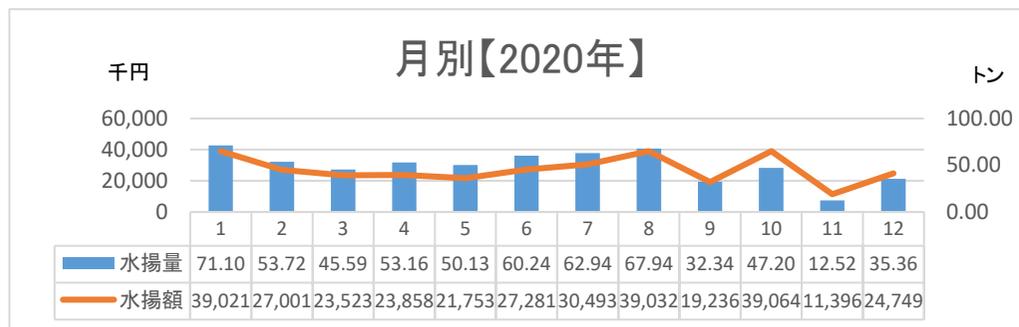
2021年8月10日現在



コメント

資源量は減少傾向にはあるが、比較的安定しており激減はしていない。資源量が安定しているのは、放流の効果や成長が早いこと等が考えられる。

主な水揚げ先：上対馬、豊玉、佐須奈



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



15

トコブシ

2021年8月10日現在



コメント

特になし。



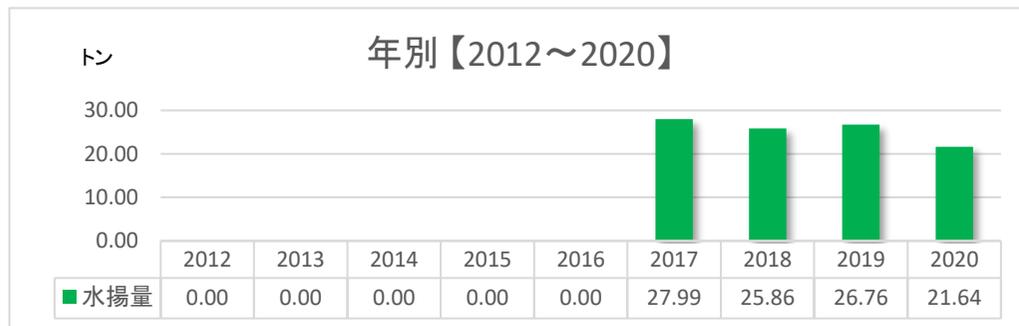
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



16

ニナ

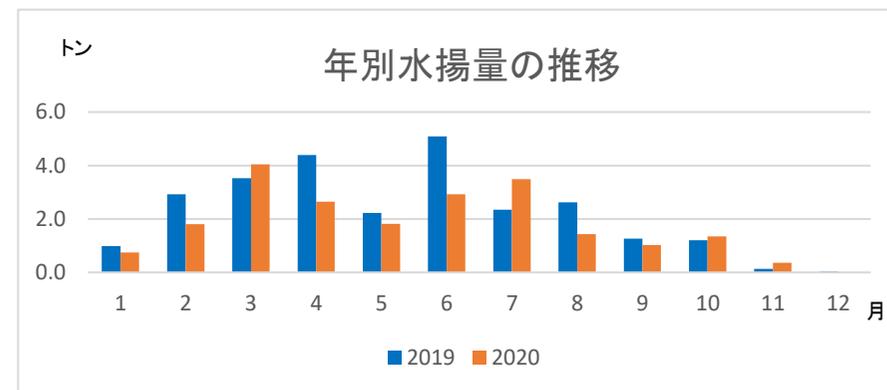
2021年8月10日現在



コメント

全島的に生息しており、資源量は多いと思われるが自家消費が主である。
400～500円/kg程度の価値があり、価格的にもサザエと遜色ない。

主な水揚げ先：豊玉、美津島、高浜



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



17

バイ

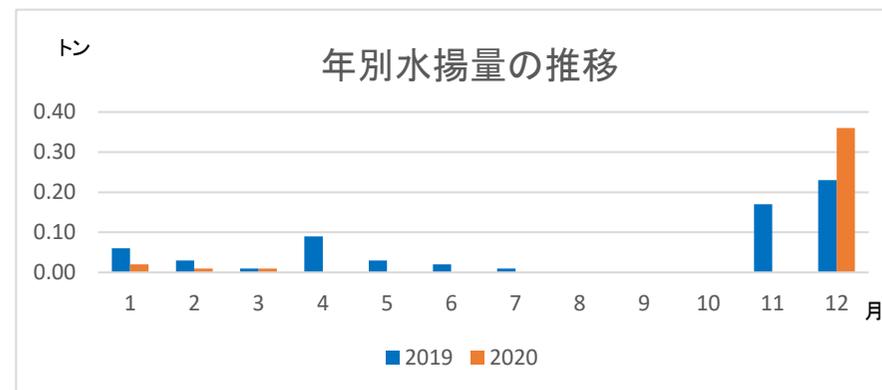
2021年8月10日現在



コメント

砂地に生息しているため、資源量は少ないと思われる。
700円/kg程度であるが、採捕者は少ない。

主な水揚げ先: 佐須奈



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



18

イセエビ

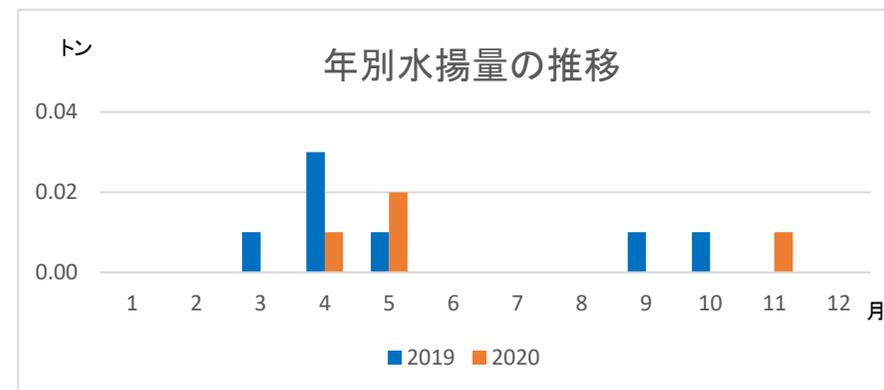
2021年8月10日現在



コメント

建網、潜りで採捕しているが、年々減少傾向にあると思われる。
全島の(主に西海岸)に生息しているが、資源量は少ないと思われる。

主な水揚げ先: 佐須奈、豊玉、伊奈

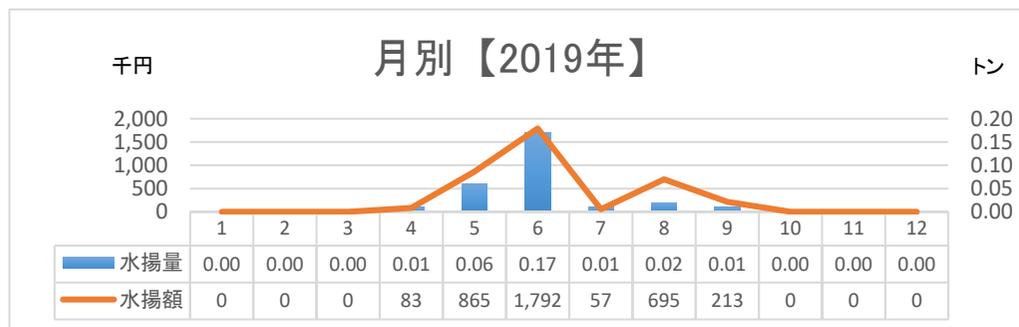


※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

19

ウニ

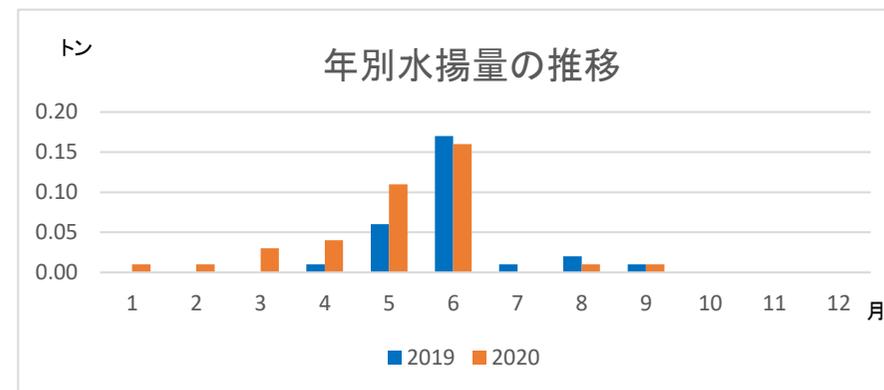
2021年8月10日現在



コメント

自家消費、小売りが主である。
近年、身入りが悪い個体が多い。
身入りの良し悪しを度外視すれば資源量が多い。

主な水揚げ先：厳原、美津島、上対馬



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



20

エムシ

2021年8月10日現在



コメント

特になし。



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

21

タコ

2021年8月10日現在



コメント

資源量、価格ともに安定している。

主な水揚げ先：上県、上対馬南、西海



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



22

ナマコ

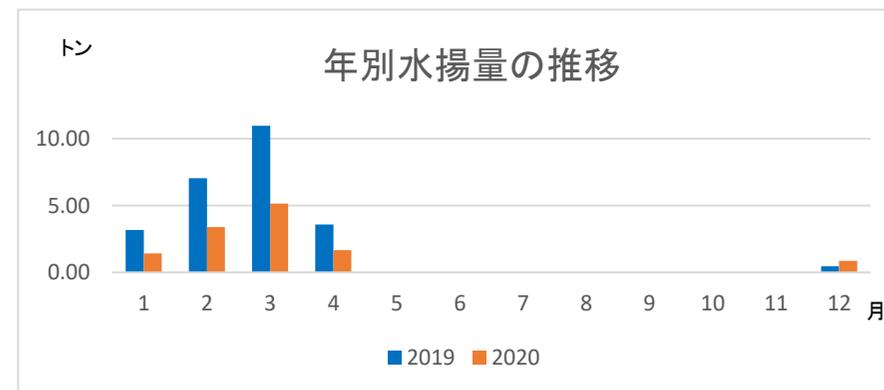
2021年8月10日現在



コメント

資源量が減少していると思われるとともに採捕者も減少している。
内海の砂地に生息している。（浅茅湾に多い）

主な水揚げ先：豊玉、上対馬、美津島



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

